

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

HPV - DNA 型判定 / LAMP - DNA チップ法 (依頼コード No.2790)

受託開始日 2011年9月1日(木) 受付分より

HPV(ヒトパピローマウイルス)には100種類以上のジェノタイプ(遺伝子型)がありますが、16型、18型をはじめ10数種類の遺伝子型のHPVが子宮頸癌の発症に関与することが知られ、これらを「高リスク型群」としてグループ分けする遺伝子検査が既に広く用いられています。また、ワクチンの開発や販売に伴い、それぞれの型判別の検査も普及しております。

この度、新たに保険収載されたHPVジェノタイプ判定^{*})に対応できる検査の受託も開始いたします。なお、保険算定の条件は、事前に実施した生検組織での病理診断の結果、CIN1(軽度異形成)またはCIN2(中等度異形成)と判定された場合に限られます。

^{*}) 算定条件の詳細は、受託要領の備考欄をご参照ください。

裏面に続きます

受託要領

依頼コード No.	2790	
検査材料	患部擦過物	
採取容器	専用容器 HPV・1(一般用) HPV・2(妊婦用) HPV-DNA 高リスク型検査の専用容器を共用	LBC 容器(シンプレップバイアル) 婦人科 LBC(婦人科液状化検体細胞診)検査の専用容器を共用
保存方法	冷蔵	室温
測定方法	LAMP・電流検出型 DNA チップ法	
基準値	設定せず	
報告単位	型	
報告形式	<p>分別可能な遺伝子型は、16、18、31、33、35、39、45、51、52、56、58、59 および 68 型の 13 種類で、検出された型番号を表記します。</p> <p>複数種類の型が検出された場合には全て併記します。いずれの型も検出されなかった場合には、「検出せず」とご報告します。</p>	
報告日数	3 ~ 9 日	
検査実施料 / 判断料	2000 点 / 150 点 (微生物学的検査)	
備考	<p>保険適用条件</p> <p>ア HPV ジェノタイプ判定は、区分番号「D004・2」悪性腫瘍組織検査「1」の悪性腫瘍遺伝子検査に準じて算定する。</p> <p>イ あらかじめ行われた組織診断の結果、CIN1 又は CIN2 と判定された患者に対し、治療方針の決定を目的として、ハイリスク型 HPV のそれぞれの有無を確認した場合に算定する。</p> <p>ウ 当該検査は、区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「6」の HPV 核酸同定検査の施設基準を届け出ている保険医療機関において算定できる。</p> <p>エ 当該検査を算定するに当たっては、あらかじめ行われた組織診断の結果及び組織診断の実施日、及び当該検査によって選択した治療法を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。</p> <p>オ 同一の患者について、当該検査を 2 回目以降行う場合は、当該検査の前回実施日、及び前回選択した治療（その後通常の検診となった場合はその旨）を上記に併せて記載する。</p>	

【測定法の参考文献】 北原公明，他：医療と検査機器・試薬，34(2)：117-122，2011．